

1 目指す学校 構造図

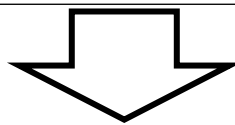
【教育目標】

愛情 学力 勤労 健康

より豊かな心をつちかう より深く自ら学ぶ よりよくはたらき責任をはたす よりたくましく心身をきたえる

【目指す生徒像】

- 1 自分で考えて行動する力をもつ生徒
- 2 豊かな心とすべての人に感謝の心をもつ生徒
- 3 前に踏み出し、粘り強く取組む生徒
- 4 興味を持ち、考え抜く生徒



令和 8 年度の清瀬第二中学校の教育活動方針

生徒一人一人が主役

生徒が主体となり、自主的に取組めるように工夫された深い学び

清瀬第二中の教育活動

- ・各教科、道徳科
- ・総合的な学習の時間
- ・学年学級活動、生徒会活動
- ・生徒会活動
- ・学校行事、特別活動
- ・特色ある教育活動
- ・インクルーシブ教育

他者との関わり

- ・協働的、対話的な学習活動
- ・関わり合いや教え合いを重視した活動

取組

方策

- ①安心・安全・信頼がある学校生活
- ②豊かな心と体の育成（自己実現を図る指導）
- ③確かな学力の定着（授業の質的充実）
- ④家庭・地域と連携した開かれた学校

【これからの社会で求められる人材】

人生 100 年時代、第四次産業革命と言われるように大きな変化の時を迎えている社会に対応して生き抜くためには、

- ・各分野における基礎力
- ・コミュニケーション力
- ・グローバルな感覚

【清瀬二中の特徴】

- ・明るく元気で素直な生徒集団で、生徒会を中心とした委員会活動に積極的に取り組んでいる
- ・運動会や合唱コンクールなどの学校行事は、協力し、楽しんで取組んでいる。
- ・近隣 3 校の小学校からの進学が主である。

【清瀬二中学生の課題】

- ・聴く力や姿勢に課題がある。
- ・主体的に実行する力をさらに培うことが課題である。
- ・聞いたり、発言したり、話し合うことが苦手な生徒が多い。
- ・家庭学習習慣の定着やより良い学習集団としての学級づくりが大切である。

清瀬の子供たちに育てたい 5 つの力

- I 単に計算ができる漢字が書けるといった学力ではない「生きて働く知識・技能」
- II 未知のことでも対応できる「考える力」「判断する力」「表現する力」
- III 学んだことを人生や社会に生かす「生涯学び続ける力」「人間性」
- IV ふるさと清瀬を誇りとし持続発展の主体者となる力
- V 自他の命を何よりも大切にできる力「生命の尊重」

学習指導要領

清瀬市教育総合計画マスタープラン

東京都及び清瀬市教育目標

2 取り組みの方策

(1) 安心・安全・信頼がある学校生活

いじめの未然防止・早期発見早期対応について、校内いじめ防止対策委員会を設置し、教員の意識を高め、不登校対策としてチャレンジルームやSCを活用する。アセスやシャボテンログを活用し校内特別支援委員会を定期開催して未然防止に努める。

- ア いじめ・暴力・体罰を許さない強い姿勢と早期発見早期対応の実践の継続
- イ 校内安全管理の徹底と安全指導・避難訓練等の更なる充実
- ウ 「ありがとうの言葉」と「あいさつの習慣」で人間関係の円滑、自己肯定感を高める指導
- エ ポジティブな言葉と「なぜ」を大切にした指導
- オ 学校で統一した指導を大切にする。

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

学校行事や学年行事、委員会活動、授業でも生徒が主体となり、教員が目立たない指導や授業実践を目指す。

- ア 理由を尋ねる会話を意識し、自分で判断する力や説明する力を養う。
- イ 相手の話をきちんと聴き、自分の意見をしっかり表現する態度を育成する取組。
- ウ 道徳教育の充実のための取組
- エ 生徒が主役となる場面を意識した指導と取組
- オ キャリア教育などの体験学習の充実
- カ 朝の読書活動の充実

(3) 確かな学力の定着

校内で統一され、小学校との連携を視野にした授業スタイル

- ア 個性を認める人間関係の育成
- イ 授業規律の徹底と授業スタイルの充実
- ウ その時間で身に付けるべき力が明確で、まとまりのある1単位時間の授業
- エ 主体的・対話的で深い学びのある授業（問題探究型の授業、生徒が見通しを持てる授業）の実践
- オ 協働的学び・対話的学びを意図的に取り入れた授業の実践
- カ 他者への説明、意見発表、議論、教え合い等アウトプットを重視した教科授業
- キ 生徒の主体的な活動場面の工夫（発問の仕方や声かけ、導き方等）

(4) 家庭・地域と連携した開かれた学校づくり

ホームページ等による情報発信を進めて、継続性のあるものにする。また地域行事への生徒参加を促進

- ア 小中連携教育を充実し教育の質を高め、また地域に根差した教育のさらなる推進。
- イ 学年便り、HPでの情報発信等による地域に信頼される開かれた透明性ある学校づくり
- ウ 学校運営協議会との意見交換を基に教育活動を推進する。
- エ 青少年地区委員会や地域社会と連携した教育活動の実施

(5) 特別でない特別支援教育

すべての生徒が「共に学ぶ」ことから、共生社会の形成の基盤を培う

(6) 教職員が生き生きと働く環境づくり

1か月時間外勤務が45時間以下の割合を100%にし、ストレスチェックにおける高ストレスの割合を5%以下にする。

- ア 適材適所の分掌・特別委員会の配置
- イ 校務システムの利用による校内会議の効率化

目指す教師像：生徒が主役であることを大切にし、誇りとやりがいのもてる教師。